

博多祇園山笠の写真いただきました

博多祇園山笠で思い出すのが、10数年前、テレビで偶然見た「追い山笠」でした。祭りを早朝から中継しており、4時59分の太鼓の合図にはじまり、舁き（かき）手の男たちが「山笠」を櫛田神社の中を素早く回り、「博多祝い唄」の後、街中に飛び（舁き）出して、須崎町のゴールまでタイムレースをしていました。すごい男たちの体力、迫力でした。

そのお祭りの写真をいただき、夏の祭典の一時を投稿させていただきます。

撮影の方は、博多祇園山笠を毎年13日14日15日と撮影しておりますが、今年は時間がなく7月12日の「追い山笠ならし」しか撮影できなかったとのことでした。



「追い山笠ならし」の説明

文字通り「追い山笠」のリハーサル

一番山笠から順次「櫛田入り」して奈良屋町角の廻り止め（ゴール）までの約4kmのコースを全力で舁く。

一番山笠は追い山笠同様、「櫛田入り」の際、山笠を止めて「博多祝い唄」を歌う事が認められている。「櫛田入り」「全コース」とも所要時間を計測する。

(<https://www.hakatayamakasa.com/171073.html>)

いつもと違う場所で撮影しようとコースの下見を行い、東町筋に僅かに下っている坂を見つけ、下り坂のため昇き手の顔が前から後ろまで見える路地で撮影されたようです。



壁の前は昇き山笠に狭まれる危険があるので、人が立つことを禁止し、人が写り込まないので撮影には都合の良い場所でした。

例年は長袖のUVカットでの汗だくの撮影でしたが、この日は運よく小雨の撮影で助かったようです。



また、六番山笠土居流れの齊天大聖孫悟空（さいてんたいせいそんごくう）は、特に女性に人気がある昇き山笠でした。



倶楽部本部からの投稿記事

各地のお祭りの情報も是非お寄せください。